

「日中植林・植樹国際連帯事業」
中国国家発展改革委員会気候変動代表団
参加者の感想（抜粋）

○今回の訪問を通して日本国民の環境意識や、水素などの新しいエネルギーの開発利用が印象深かった。環境を保護し、省エネ・CO2削減に一人ひとりが積極的に取り組み、紹介されたモデル事例は説得力があり、地球気候変動の対策として高い技術力と貴重な経験を有している。帰国後は訪問を通して得た理解や経験を仕事に生かし、周囲にも伝え広めたい。

○日本は努力して環境公害の多い国から環境保全の優れた国に変身できた。中国はその経験を学ぶべきである。中日は発展の異なる段階にあり、環境と気候変動分野において交流や協力を深めることは、今後の中日関係の更なる発展につながっていく。

日本人の仕事ぶりは生真面目で、慎重である。日本の社会秩序等が非常に印象深かった。帰国後は、周囲には日本への観光やショッピングを薦めたい。日本の秩序正しい社会も体験してほしい。

○日産自動車のCO2削減においての意識と努力は優れており、大いに社会に広めるべきである。

日本の環境保全における啓蒙活動や教育は中国にとって学ぶべきであり、特に小学生や中学生に向けての教育に取り入れる価値がある。

ゼロ・カーボンコミュニティの事例は大変参考になった。今後も本分野における交流を続けたい。

日本政府、企業、市民による環境分野での取り組みは着実に有効である。